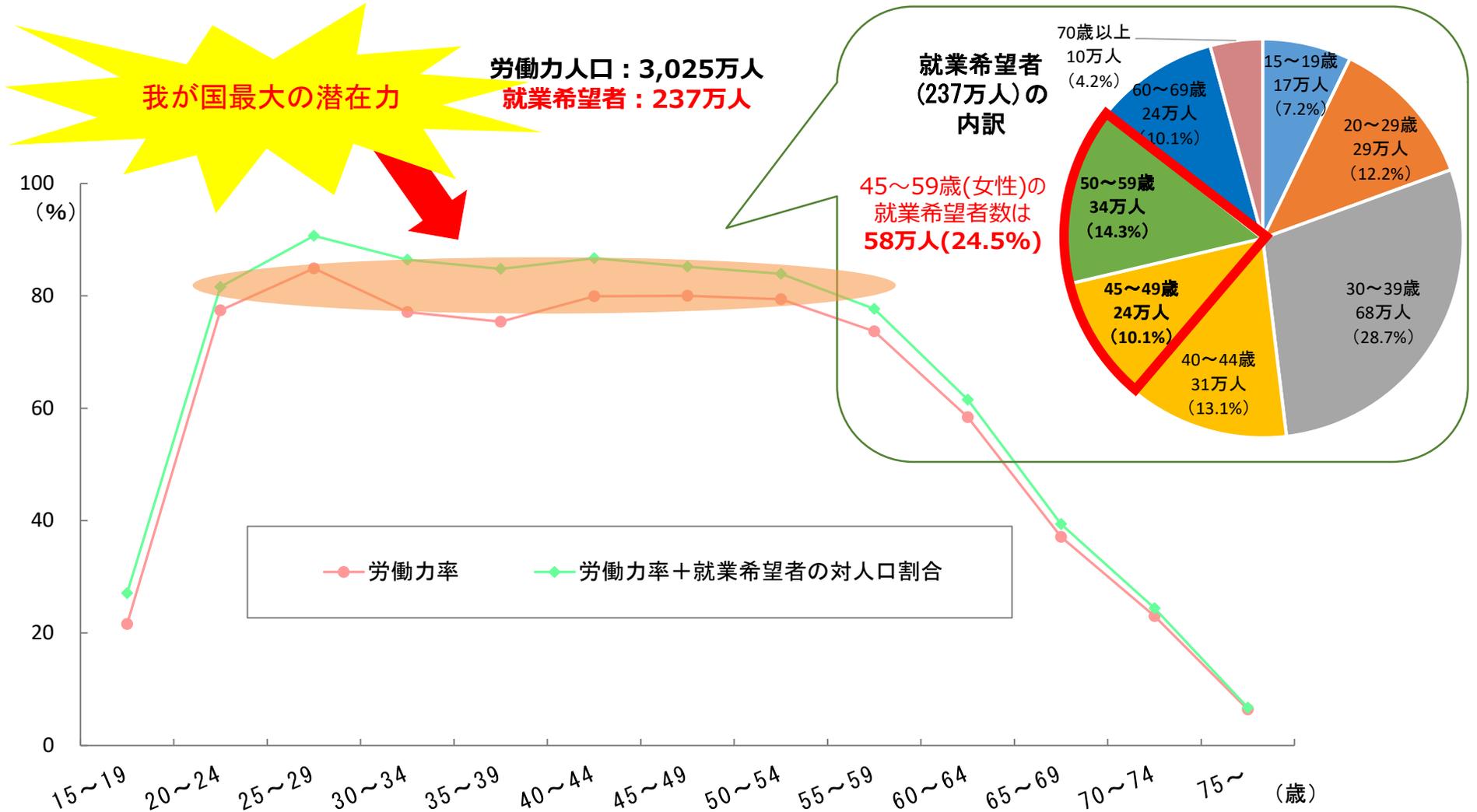


「女性活躍加速のための重点方針2019」検討に向けた
参考図表

平成31年4月24日

女性の年齢別労働力率

日本では、女性の年齢階級別労働力率が30歳代を底としたM字カーブを描くが、
就業希望者等を加えた潜在的労働力率は高い。

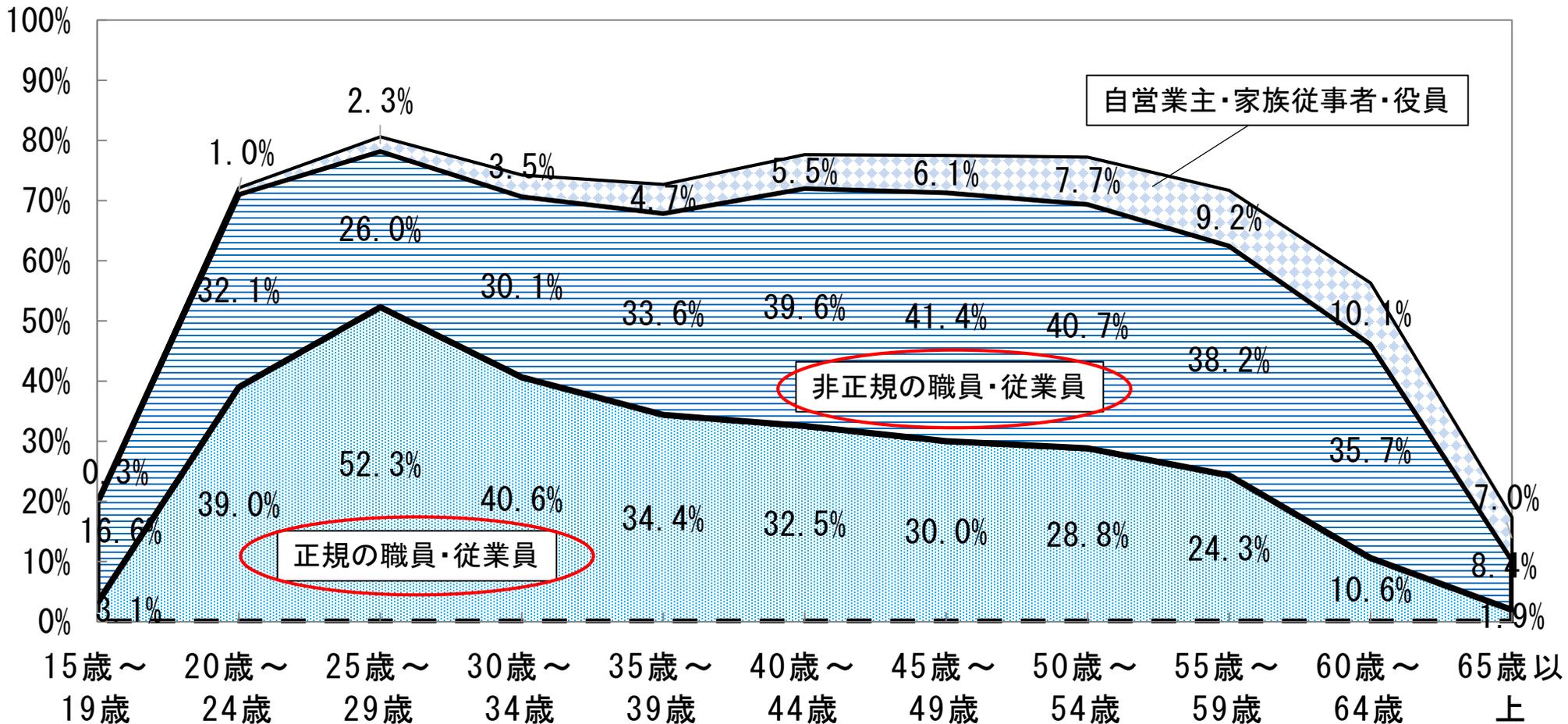


- (備考) 1. 総務省「労働力調査(詳細集計)」(平成30年)より作成。
2. 「労働力率」は15歳以上人口に占める労働力人口(就業率+完全失業者)の割合

生涯を通じた女性の社会参画の現状

正社員としての就業は25～29歳をピークに減少。
25～29歳以降は、非正規の比率が高まる。

[女性の年齢階級別・就業形態別就業率]

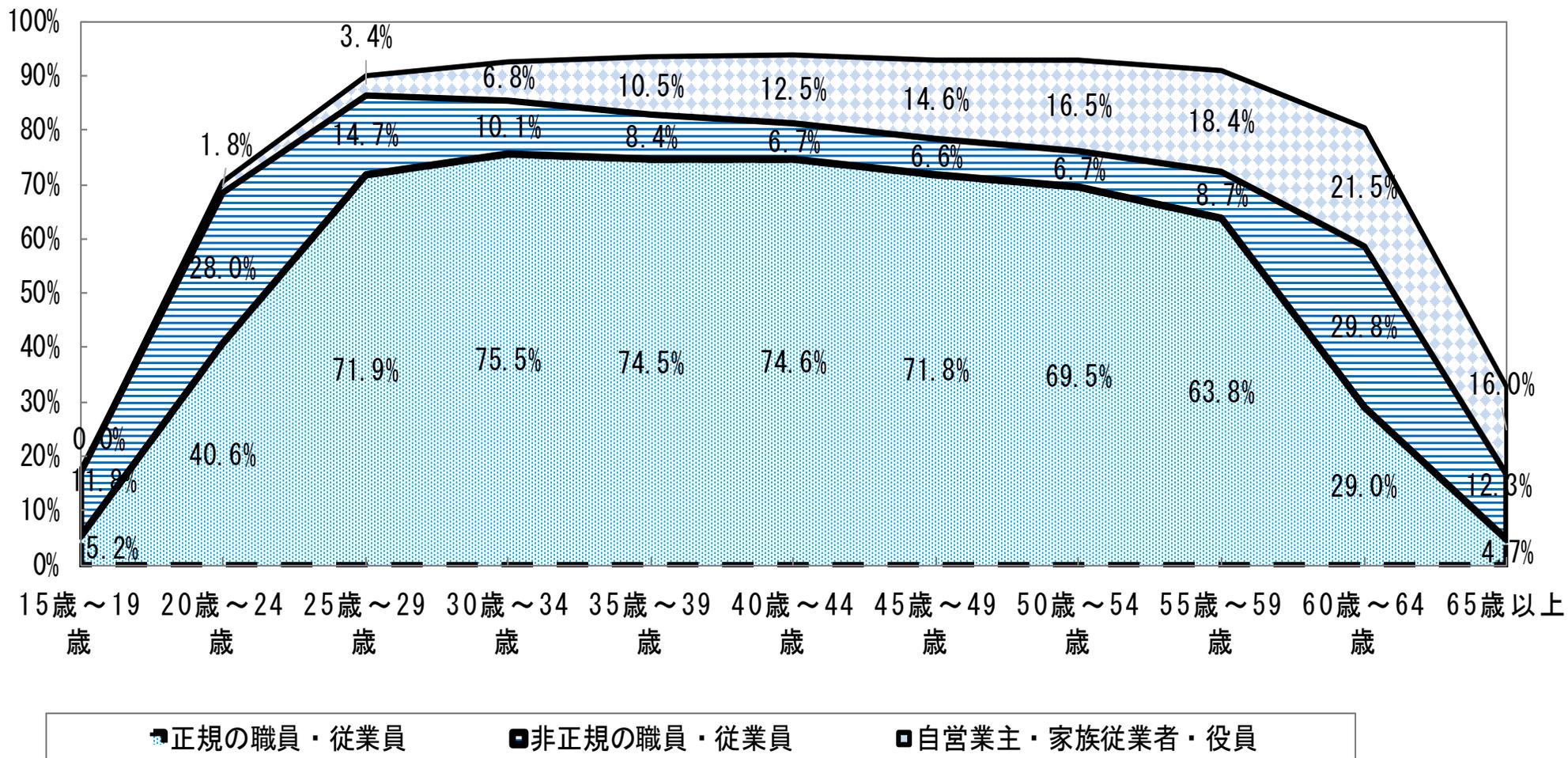


(出典)総務省「平成30年労働力調査(基本集計)」

(ご参考) 生涯を通じた男性の社会参画の現状

男性は、正社員としての就業率は59歳まで60%を超える。

[男性の年齢階級別・就業形態別就業率]



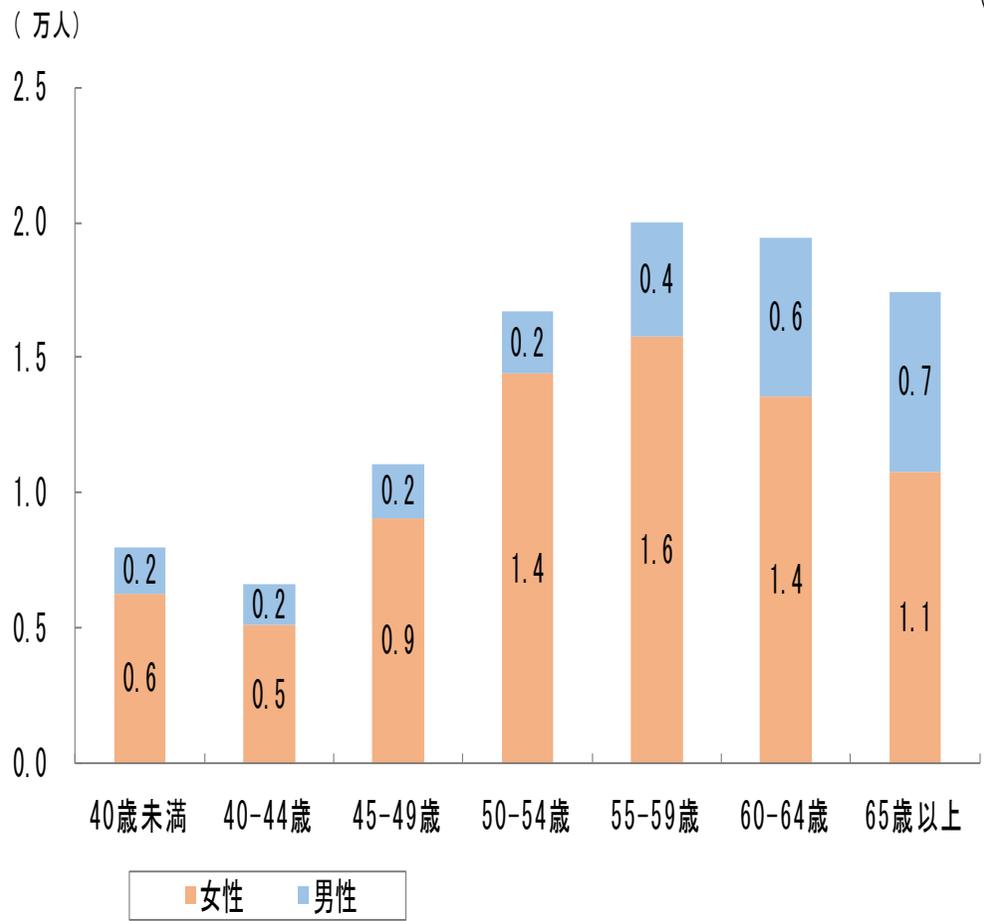
(資料出所) 総務省「平成30年労働力調査(基本集計)」

年齢階級別介護離職者数、有業者の内、介護をしている人の数

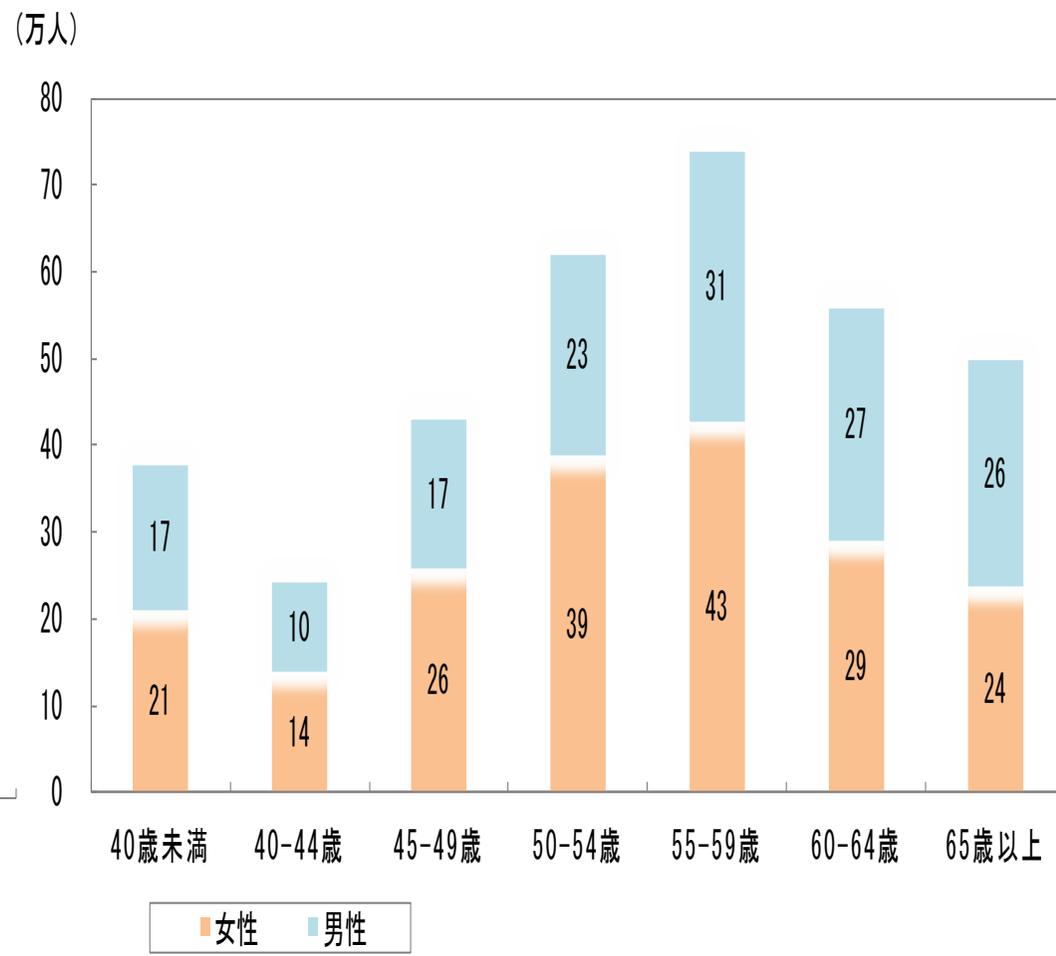
介護・看護を理由とした離職者数、45歳以上の女性のボリュームが特に多い。
一方、有業者の内、介護をしている人口は45歳以上の男女のボリュームが大きい。

【性別・年齢階級別の介護・看護を理由とした離職者数

(平成28年10月～平成29年9月)】



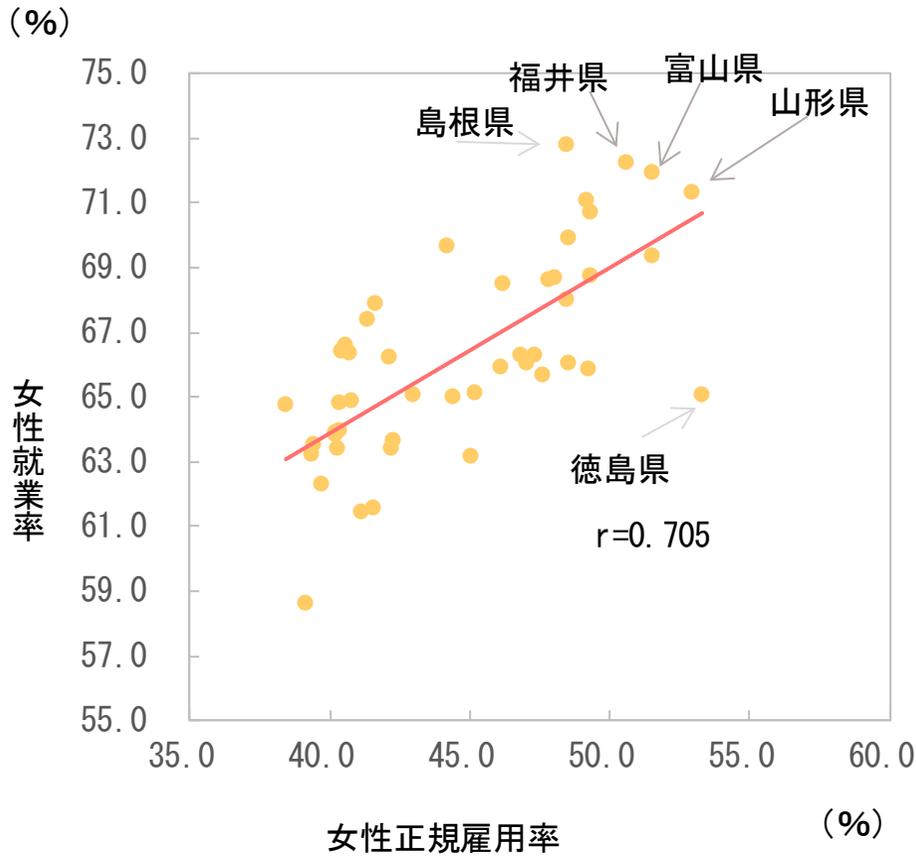
【有業者の内、介護をしている人口】



女性の就業率に影響がある要因

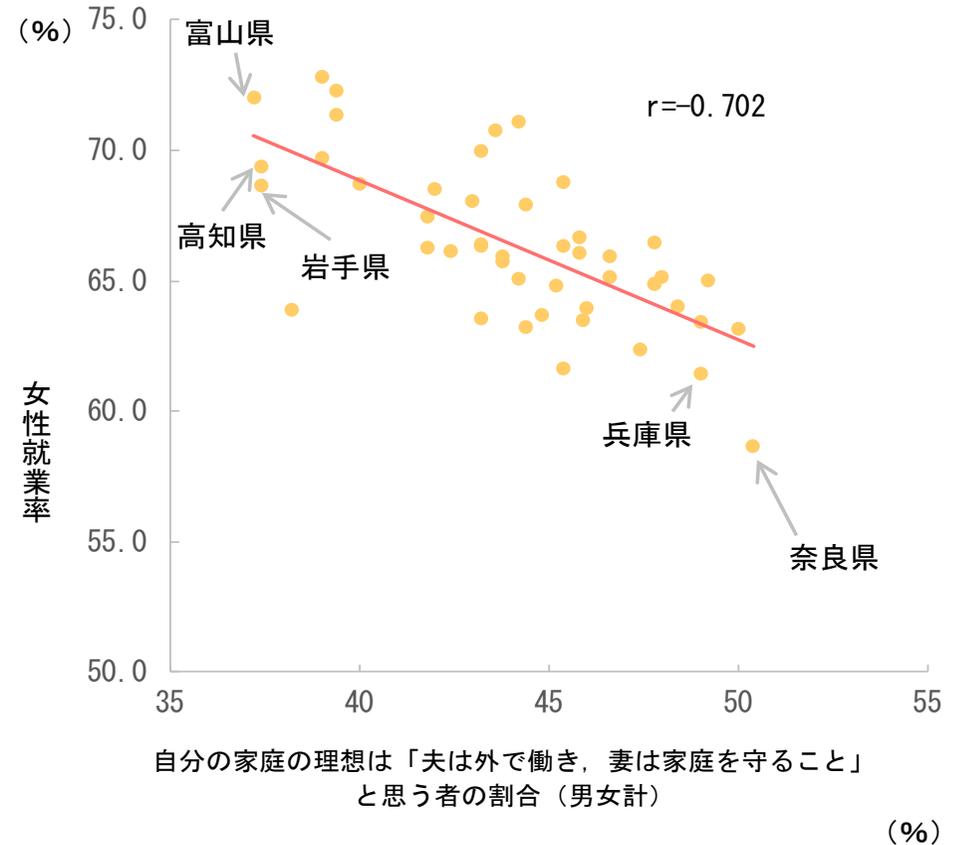
女性の就業率、正規雇用率の間には正の相関。
また、女性就業率は、性別固定的役割分担意識との間でも相関関係が見られる。

[都道府県別就業率・正規雇用率の関係]



(出典)国勢調査(平成27年)、就業構造基本調査(平成29年)により作成。

[就業率と性別固定的役割分担意識の関係]



(出典)内閣府男女共同参画局「地域における女性の活躍に関する意識調査」(平成27年)、総務省「国勢調査」(平成27年)より作成。

(注)意識に関する割合は、「自分の家庭の理想は「夫は外で働き、妻は家庭を守る」ことだ」という考え方について、「そう思う」又は「ややそう思う」とした者の割合。